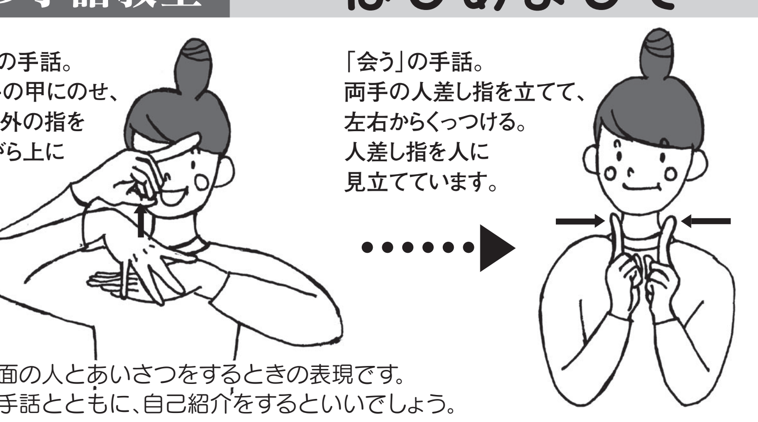
おおさき福祉のページ

編集製作／社会福祉法人 大崎市社会福祉協議会
〒989-6154 宮城県大崎市古川三日町二丁目5－1
大崎市古川保健福祉プラザ（fプラザ）内
TEL 0229(21)0550　FAX 0229(24)1158
製作協力／株式会社大崎タイムス社

みんなの手話教室　はじめまして



「はじめて」の手話。
右手を左手の甲にのせ、人差し指以外の指をくっつけながら上に上げます。

「会う」の手話。
両手の人差し指を立てて、左右からくっつける。人差し指を人に見立てています。

ポイント　初対面の人とあいさつをするときの表現です。この手話とともに、自己紹介をするといいでしょう。

「社協」ってご存知ですか？

社会福祉協議会は、概ね全国の市区町村、都道府県、及び中央段階の全国社会福祉協議会が、社会福祉法に基づき、それぞれ独立した社会福祉法人として組織されています。

略して、「社協」と呼ばれています。

社協は、福祉団体としての「安心・安全な地域をつくる」ことを目的とし、地域のみなさんやボランティア・福祉・保健等の関係団体や行政機関の協力を得て、地域福祉の中核を担う組織として位置づけられると共に、公益的貢献を求められている民間の社会福祉団体です。

大崎市社会福祉協議会は、平成十八年七月一日に一市六町の社会福祉協議会が合併し、一年三ヶ月が経とうとしています。

地域福祉の推進役として、これからも福祉活動やボランティア活動、各種福祉サービスや情報の提供、相談事業の充実、各種事業の企画・実施等に努め、加速化する高齢化と多様化する福祉ニーズに柔軟に即応できる体制づくりを図り、地域の特性に合った福祉活動の推進に努めてまいります。

平成十九年度、大崎市社協では次の事業を実施しております。

●地域福祉活動計画・福祉調査研究事業
①地域福祉活動計画策定②社会福祉調査③地域福祉座談会

●老人福祉活動推進事業
①教養講座「趣味の教室」②ひとり暮らし高齢者安否確認③ひとり暮らし高齢者のつどい④老人クラブ活動支援⑤世代間交流事業⑥介護者家族のつどい⑦介護機器等の貸出事業⑧高齢者向けパソコン講座

●障害（児）者福祉事業
①知的障害者通所授産施設「あしたの広場」の運営②知的障害者通所援護施設「ふれあい広場」の運営③障害者交流事業④障害者団体活動支援事業

●生活援助事業
①生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）②生活安定資金貸付事業③愛の金庫貸付事業④菊地久子福祉育英奨学金給付事業⑤災害見舞金支給⑥福祉サービス利用援助（県社協受託事業）

●指定管理者制度による指定事業
①大崎市古川老人福祉センター管理・運営②大崎市鹿島台長寿生活支援センター（ゆうゆう館）管理・運営

●介護保険事業・介護予防事業
①居宅介護支援②訪問介護③通所介護④訪問入浴介護⑤福祉用具貸与⑥短期入所生活介護施設「楽々楽館」の運営⑦特別養護老人ホーム「敬風園」の運営⑧認知症対応型共同生活介護⑨特定福祉用具販売

●地域福祉活動事業
①支部社協・地区社協支援②いきいきふれあいサロン③心配ごと相談事業④地域福祉推進団体活動支援⑤福祉大会・表彰事業⑥金婚祝賀会⑦教養講座

●ボランティア・福祉人材養成事業
①ボランティアセンター②ボランティア活動推進③災害ボランティアセンター体制整備④福祉教育・福祉人材養成（おおさき福祉の学校）

●児童・青少年福祉事業
①交通海難労災遺児助成事業②児童福祉支援事業③地域児童福祉助成④更生保護女性会助成・支援

●母子父子福祉事業
①母子父子家庭支援②母子福祉会活動支援

●大崎市受託事業
①マイクロバス「おおぞら」管理運行事業②高齢者等外出支援サービス事業③高齢者世話付住宅生活援助員派遣（シルバーハウジング）事業④大崎市古川農村環境改善センター管理⑤大崎市地域介護予防活動支援事業⑥高齢者の生きがいと健康づくり事業⑦会食サービス事業⑧高齢者食の自立支援サービス⑨高齢者軽度生活援助⑩家族介護支援レスパイト⑪生活管理指導短期宿泊⑫移動入浴車派遣⑬指定介護予防支援

●共同募金運動
①赤い羽根共同募金運動②歳末たすけあい運動

●障害福祉サービス
①居宅介護事業②共同生活介護（援助）事業③生活介護事業

◎社協が運営している事業所の詳細については、次号で紹介させていただきます。

赤い羽根共同募金にご協力をお願いいたします。

赤い羽根共同募金は、地域の皆様のたすけあいの心に支えられて六十一周年を迎え、十月一日から十二月三十一日の三ヶ月間、全国一斉に募金運動が展開されます。

赤い羽根共同募金は「社会福祉法」に規定されており、事前に地域ごとに配分計画を立て、目標額を決めて募金運動を行っております。

昨年の募金運動では、大崎市全体で一千九百五十六万二千七百五十五円のご協力をいただき、地域の社会福祉団体・施設・行政区や町内会などへの配分事業、社会福祉協議会が実施する事業や災害時の救援のために役立たせていただくことができました。誠にありがとうございました。

今年度も、皆様のあたたかいご協力をお願いします。

社会福祉あらかると①

社会福祉法人 大崎市社会福祉協議会
常務理事兼事務局長　菅股　彰信

○崇高な理念を説いた老人福祉法

過去の国民生活白書の言葉の中に「明日は今日の続きではない」などと言わせしめた今日的時代背景、文字通りの不確実要因の続く社会情勢、それらを物語るかのような国政のドタバタ劇、その職責の重さを省みずの行為行動、この国の行く末が案じられてならない今日この頃であります。

さて、最近気になるものの一つに、高齢者問題、昨年の古川老人福祉センター趣味の教室の機関紙「なかま」でも述べたように、我が国の六十五歳以上の人口が総人口数の二割を超えたとマスコミ等で報じられ話題となりました。

総じて、マスコミ報道ないしは政府機関の発表内容が長寿国世界一を誇っていいはずなのに、これらの論調、必ずしも好意的な受け止め方ではなく、曰く、少子高齢化進展の中にあっての予測から、世代間連帯での高齢者を支えることは不可能だとしている。

しかし、これらの予測は今に始まったことではなく、前々からわかっていたはずなのに、今ここに至って、年金の食いつぶしの不祥事など、国の制度の不始末とその準備を怠った結果の表れを、ことあるごとに、国の関係筋、お抱え学者、一部マスコミ、評論家（自称福祉評論家も含む）の諸氏は、長寿が必ずしも喜ばしきことだけではないなどのニュアンスの悲観的発言の大合唱、加えて若者世代と高齢者を分断対峙させるようなコメントが、随所に出てくる昨今の風潮は由々しき事態だと言わざるを得ません。

他方、「老人は、多年にわたり社会に寄与したものとして、敬愛されるとともに、生きがいの持てる健全で安らかな生活が保障されるものとする」と言う崇高な理念を説いた老人福祉法、要は、年金・医療・福祉の各種制度の展開にあたっては法の精神に恥じない、且つ長生きが不幸にならないような対策を喫急に確立してほしいことを望むものであります。

○大崎市社協の現状と今後の展望

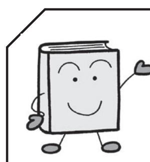
このことのあらましについては、十月一日発行予定の大崎市社協だより第四号のタイトル、社協プロジェクトに掲載しておりますが、この稿でも要約の一部を申し述べることとしたい。

平成十八年七月一日行政合併から遅れること三ヶ月、ここに社会福祉法人新生大崎市社協誕生、職員総数六百三十余名、事業所数四十九ヶ所の全国的にも類を見ないであろう第一種・第二種社会福祉事業混在のマンモス社協、多くの課題を抱えての船出、果たして安全航行でき得るか、期待と不安が交錯するなか早一年数ヶ月経過、この間様々な課題に遭遇しながらも役職員特に現場職員の同志的絆と結合による懸命の努力の甲斐あって、平成十八年度に於ける四十九全事業所トータルでの経営収支のバランスを保つことができました。この成果は、現場事業所職員の善意（待遇面）の証でもあるのです。

他方、昨今の社会保障を巡る論議その内容の多くは、先行き不透明の話題頻りであります。

取り分け社協に関わりのある介護保険制度、そのスタート時には、バラ色の画期的な制度として持てはやされ、個人の尊厳、利用者の選択権による互いの契約行為のもとでのサービス提供という、新たなる手法が制度化されたことでした。（以下次号に続く）

福祉Q&A



★このコーナーでは、みなさんが日常生活の中で見聞きする福祉用語などについての質問にお答えしていきたいと思います。

☞ 今月は、カタカナの福祉用語です。

Q 『ニーズ』って何？

A 人間として社会生活を営む上で必要なものが欠けている望ましくない状態にあり、その状態の回復・改善等を行う必要があると社会的に認められたもの。一般的には、高齢者や障害児者およびその家族が、日々の生活の中で「困っていること」や「望んでいること」などです。

Q 『ノーマライゼーション』って何？

A 障害者や高齢者など社会的に不利を受けやすい人々が、住居・教育・労働・余暇など社会の中で他の人々と同じように生活し、活動することが社会の本来あるべき姿であるという考え方です。

Q 『バリアフリー』って何？

A 障害者や高齢者などが、生活や行動をする上で妨げとなる障壁（バリア）を社会、街、施設、道路、住宅、人々の意識から取り除くということです。

具体的には、車イスで通行できるような道路や廊下の幅を確保する、階段の代わりにスロープをつけて段差をなくすこと、手すりや点字案内板を設置することなどがあります。また、社会的・心理的偏見や差別意識も重大な障壁としてとらえ、心のバリアフリーも望まれています。

Q 『キャップハンディ』って何？

A 「ハンディキャップ＝ 社会的な不利 」という言葉の前後を入れ替えることで、「立場を入れ替えて考えてほしい」という願いが込められています。

障害を持たない人が障害のある状態を体験し、障害を持つ人の身体状況や気持ちの一端を理解する「気付き」を目的とした取り組みのことです。

◆ 社協では、障害を持っている方々へ接することへの理解を深めてほしいと、小・中・高等学校等へ出向いてキャップハンディ体験（車イス・白杖・アイマスク等）学習を行っています。

Q 『ボランティア』って何？

A 自分の自発的な意思に基づいて奉仕活動を行う人。基本的には、無償性（有償性のものもあります。）・善意性・自発性に基づいて行われる福祉サービス、またはその担い手のことをいいます。

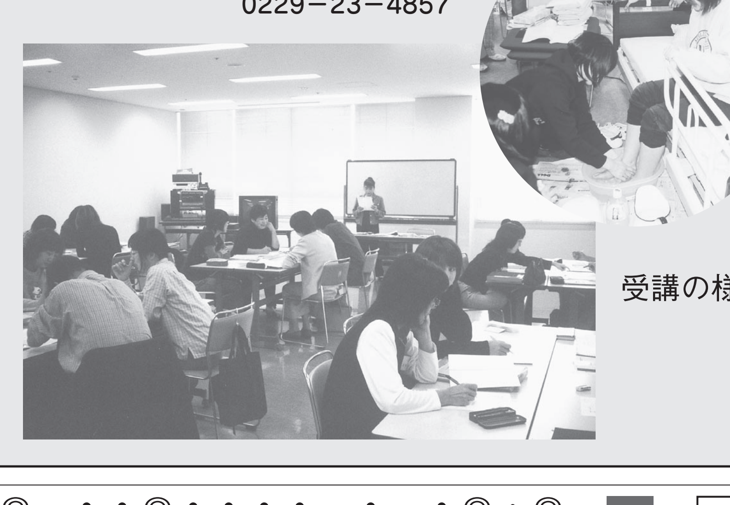
◆ 社協では、ボランティアセンターを設置し、ボランティアの養成・研修、情報の提供、活動派遣調整や相談などを行い、ボランティア活動支援の推進を図っています。

ホームヘルパー2級課程養成研修の開催について

在宅介護についての理解を深め、地域の要介護高齢者等に適切に対応できる人材の育成と福祉サービス提供のひとつの方策として、「ホームヘルパー2級課程養成研修」を開催いたします。

●実施場所
（1）講義研修：大崎市社会福祉協議会
　福祉センターおおみや 2階会議室他
（2）演　　習：大崎市社会福祉協議会古川ヘルパーステーション内
（3）実　　習：ホームヘルパー同行、デイサービスセンター、
　短期入所生活介護施設
●受講資格：原則として大崎市民で、全研修課程を受講できる方
●定　　員：40名
●受講経費：60,000円
●研修期間
講義研修・演習・実習
平成19年11月1日㈭、6日㈫、8日（木）、13日㈫、15日㈭、20日㈫、
22日㈭、23日㈮、27日㈫、29日㈭
12月2日㈰、4日㈫、6日㈭、11日㈫、13日㈭、18日㈫、20日㈭

●お申し込み・お問合せ先
大崎市社会福祉協議会 古川支所
大崎市古川三日町2丁目5－1
TEL:0229－23－7400
0229－23－4857



受講の様子

社会福祉寄附者ご芳名

平成十九年六月十六日～九月二十一日受付分

あたたかい善意、ありがとうございます。

◆寄附金（敬称略）

◎本所
・匿名　四〇、五〇〇円

◎古川支所
・日本民謡桃岡会 代表 藤岡 桃岡　五〇、〇〇〇円
・北川 よし美（仙台市）　五〇、〇〇〇円
・片方 正彦　一〇、〇〇〇円
・卯月会　二〇、〇〇〇円
・手話小さな勉強会　二〇、〇〇〇円
・末永 正吾　一〇、〇〇〇円

◎鹿島台支所
・匿名　二〇〇、〇〇〇円
・沢流一座 代表 砂沢 清吾（美里町）　五〇、〇〇〇円

◎岩出山支所
・笠森 俊一　五〇、〇〇〇円
・二階堂 孝則　一〇〇、〇〇〇円
・森 一司　二〇、〇〇〇円
・千葉恵美子音楽教室 会主 千葉 恵美子　六〇、〇〇〇円

◎鳴子支所
・相沢 つね子　二〇、〇〇〇円
・川渡カトリック保育園　一〇、〇〇〇円

◎敬風園
・匿名　二〇〇、〇〇〇円

◆物品寄附（敬称略）

◎本所
・渡辺 忠夫……カラオケセット一式
・イオン㈱ジャスコ古川店 …イエローレシートによる物品寄贈（事務用品二九、九七〇円相当）

◎古川支所
・千葉 節子……タオル五〇〇枚
・野田 勝美……タオル二十八枚
・高橋 吉弘（加美町）……介護用品六点
・古川地域婦人団体連絡協議会 代表 大友 富子…タオル二五〇枚
・匿名……介護用品三点
・三澤 みよ子……ゆかた十七着
・武田 陽子……軽自動車一台
・池田 ゆき…電気コタツ一式・温風暖房機一台・タオル五十枚
・匿名…フェイスタオル二十五枚

◎松山支所
・角田 のり子……海苔十帖

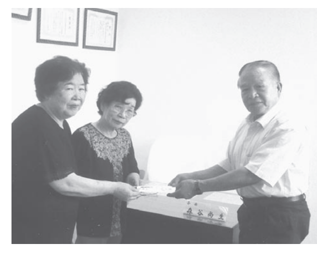
◎三本木支所
・大崎商工会女性部 三本木支部 支部長 滝川 幸子…タオル五十枚

◎鹿島台支所
・匿名……タオル一〇〇枚
・高山 良子……タンバリン四ヶ
・石川 かつ子……簡易ベッド一台
・高橋 孝子……タオル一五九枚
・結城 和子……押し花額入り一枚

◎岩出山支所
・筒井 喜久雄……介護用品三十点

◎鳴子支所
・氏家 悟（千葉県船橋市）……介護用品二十四点

◎敬風園
・岸ガーデン（鹿島台）……化粧石けん四十ヶ
・菅原 智子……化粧石けん四十二ヶ
・㈶東北地方特定局長協会大崎部会……リクライニング車イス二台



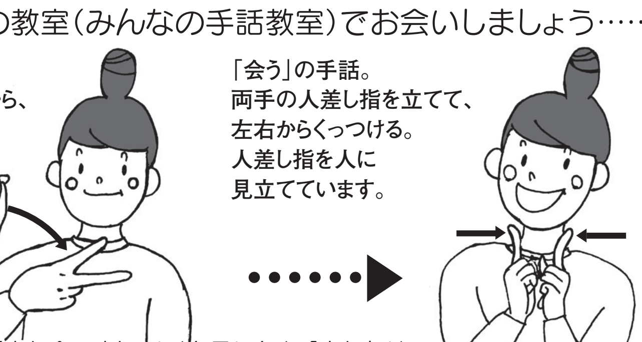
卯月会様

川渡カトリック保育園様

千葉恵美子音楽教室 会主 千葉恵美子様

みんなの手話教室　また会いましょう

◇次回もまた、この教室（みんなの手話教室）でお会いしましょう……



「また」の手話。
右手でこぶしを作ってから、人差し指と中指を横に出します。

「会う」の手話。
両手の人差し指を立てて、左右からくっつける。人差し指を人に見立てています。

ポイント　少していねいに「また会いましょう」と言うとき、「またね!」とラフに言うとき、ともに「また＋会う」で表現します。

わたしたちは福祉活動を応援しています

安全・安心な生活を守る
株式会社 安全調査機構
代表取締役　公平　有史
〒987-0012 仙台市太白区長町南3丁目9-28
☎022-797-1432 FAX797-1433

私たちは、21世紀型資源循環事業を推進しています
JAPAN CYCLE
スーパー環境カンパニー
ジャパンサイクル株式会社
いわでやま資源循環モデルセンター
大崎市岩出山下野目字寒気原1番地1号
TEL.0229-72-2010・FAX.0229-72-2073

総合建設業
株式会社 藤山工務店
■本　社／〒989-4308 大崎市田尻沼部字新富岡57-1
TEL.0229(39)1234 FAX.0229(39)1209
■仙台支店／〒980-0004 仙台市青葉区宮町1丁目3-20
朝日プラザANNEX　NEW104
TEL.022(214)8403 FAX.022(214)8567
ISO 9001:2000 認証取得

地球に優しい環境づくり
オフィスのトータルプランナー
有限会社 マサミコーポレーション
〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代一丁目6-5
TEL(022)283-3138
FAX(022)283-3139

URASHIMA UNISS GROUP
Only One Wedding
お二人と0から造り上げる、世界でたった一つのウェディングスタイルを私たちがお手伝いいたします。
アインパルラ浦島
〒989-6116 大崎市古川李埣3-2-2
TEL.0229-24-8833㈹・FAX.0229-24-8422
http://www.ainperla-urashima.co.jp/